

今
北

人権だより 12月号

令和7年度
愛媛県立今治北高等学校
人権・同和教育課
人権委員会

今年も残すところ 10 日程になりました。皆さんはこの 1 年を振り返ってどのようなことが印象に残っているでしょうか。秋は、人権教育について考える機会が多い季節でした。ホームルーム活動や北桜祭での研究発表、人権・同和教育講演会などの活動について、振り返ってみましょう。



★10月23日（木） 北桜祭

人権委員会は、学年ごとに分かれて様々な取組を行いました。1年生は、クラスの仲間に呼びかけて人権メッセージを作りました。一人ひとりの思いが短いひと言ひと言に込められていました。2年生は、様々な人権問題についてまとめました。今年も1年生が作った人権メッセージと一緒に体育館に展示することができたので、たくさんの人に見てもらうことができました。来校された保護者の方も熱心に御覧になっていました。3年生は、8月に訪問した就労支援事業所「つむぎ」のクッキー販売を行いました。一つ一つ丁寧に作られたクッキーは毎年好評で、今年も完売することができました。



★11月7日（金） 人権・同和教育講演会

今年度の人権・同和教育講演会では、元中学校教諭の中矢 匠さんを講師に迎え、「地球の上に生きる~80カ国で出会った人々~」という演題で話していただきました。中矢さんが世界各地を旅する中で出会った人たちとの様々なエピソードを通して、命の重みや平和な生活の大切さ、日本人としての誇りというものを深く考えさせられる内容でした。

生徒の感想を一部紹介します。

- 生きることに希望をもてない人が同じ地球上にたくさんいることは悲しいことだと感じました。インドは人口が増えているので、貧しい人々はさらに増えていくと思います。だからこそ、一人でも生きる希望をもつ人が増えるように自分ができることを考えたいと思います。
- ウクライナの子どもたちは家族と離れることになり、とても心細くつらい思いをしていると思います。おもちゃがウクライナの子どもたちを支え、生きる希望になるだろうと思いました。また、人を助けることで、人が幸せになるだけでなく自分の人生も豊かになると思いました。
- 私も、今の世界を少しでも良くするためにどうすればよいのかを考えようと思います。そのために、まず今の世界について知ることが大事だと思いました。ニュースや新聞で世界を知るだけでなく、様々な視点から現状を知りたいと思います。行動を始めれば、世界は少し良くなると思います。



★今治市人権メッセージコンテスト

今年は本校生の作品が優秀賞と奨励賞に選ばれました。受賞した3作品を紹介します。

- 優秀賞 「ちがい」はちから。一人ひとりの声に耳を傾ける社会へ（2年）
- 奨励賞 見て見ぬふり 終わりにしよう 声をあげる勇気が未来を変える（3年）
薬にも毒にもなるSNSでのメッセージ。面と向かって言えますか？（1年）

★北朝鮮人権侵害問題について

毎年、12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。国と地方自治体は、この週間の趣旨に適うように、様々な事業を実施しています。本校では毎年7月に、1・2年の人権委員がアニメ「めぐみ」を視聴し、北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールに参加しています。皆さんもこの機会に、拉致問題解決のために自分に何ができるかを考えてみてください。